



岩井美保子議員

イベント集中に苦言

連携を十分にとる

問 5月の日曜日は、イベントの連続で、特に27日には集中した。1年間のイベントを提示され、参加、出店希望などの取りまとめ等しないと落ちがあったりして、まずいところがあった。町の施設を使用する事に関して、使用料の減免措置は見直しが必要ではないか。外部の施設な

ど使用することも考えられる。公平にすべきである。

答 (山口町長)

現在、大きなイベントを行う場合には、事前にある程度調整は行っている。観光施設等の利用についても、できるだけの調整をしながら取り組んできている。使用料については、販売収益が個人や法人等の

利益となる場合を除き、団体育成など公益性がある場合には、減免措置をしている。

イベントは多くの町民や団体の方々が、町内のいろいろな施設を利用して活動をPRし、仲間の輪を広げて頂く絶好の機会と考えている。質問の意見も参考にしながら、団体の皆さんとも協議をしながら、検討していく。



大山御幸行幸

PR不足の和牛博覧会

準備を進めている

問 和牛博覧会(全国和牛能力共進会)の取り組みの内容が決まってきたのではないかと。

町民に知らせて、協力を体制を整えるべきと思う。特におもてなしの件についてどのように考えるか。

答 (山口町長)
10月11日から4日間、開催。食肉センターが肉牛の審査会場。名和トレーニングセンターが肉牛のセリ市場。大山寺では「畜魂祭」が開催される。「大山町実施本部」を設立し、「観光・おもてなし部門」・「会場運営部

門」を設置し、準備を進めている。

①名和会場において、セリ開催日に、地元の団体などによる歓迎アトラクションとふるまい汁、お茶でのおもてなし。

大山寺では、期間中、ボランティアガイドによる阿弥陀堂などへの案内、見学などできるよう計画

している。

会場を装飾する花プランターの栽培を町内小学校・住民団体へ依頼したり、会場美化等を行うボランティア参加者を募集している。

②名和会場や大山博覧会でも、鳥取和牛の串焼きの販売について、実施を予定している。

米子会場では、鳥取和牛のコーナーが設けられ、和牛肉や焼肉が販売される。多くの町民の皆さんがご賞味頂ければ、と考えている。



マスコット「とりモー」くんPR